

# ファーストペンギン通信

第16号  
発行日  
令和3年10月4日（月）  
発行人  
八王子実践中学校  
中学部長 石川敦史

令和3年9月27日（月）6限目、本校の多目的ホールに、全校生徒が集まりました。在宅生はオンラインで受講しました。

（株）ベネッセコーポレーションから、本校を担当されている山田浩輝さんが来校され、私達に「なぜ、学力推移調査や中学総合学力調査などのテストを受けるのか」「個人成績表の活用方法」「学力推移調査と中学総合学力調査のちがい」などについて、詳しく語っていただきました。

こちらの紙面では、その説明を聞いた生徒の感想を特集します。また、その感想の内容を理解していただくためのコメントもつけます。

## 生徒の感想

ベネッセ模試がどれだけ大切なのか分かった。また、ベネッセ模試は終わった後も大切だと分かった。

## コメント

学力推移調査と中学総合学力調査の違いを詳しく教えていただきました。右説明参照。

## 生徒の感想

- ・学力テストに対する考え方が90度くらい変わり、「すごいな」と思いました。これからは自分が何型なのかを理解したうえで、勉強をしていきたいです。
- ・大学へ行くのに点数が意外と少なくて驚いた。意外と東大行く点数低いと思った。

## コメント

学力推移調査の結果を使って、これからの自己の学習を見直す説明が秀逸でした。学力推移調査は全国の中高一貫校の75%が受験しています。

個人成績表に載せられているGTZ（学習到達ゾーン）の使

## いつもの定期考査とは違う

### 学力推移調査

国語・数学・英語において知識を中心とした授業で学んだことが身についているかをはかる

### 中学総合学力調査

国語・数学・英語・教科融合において授業で学んだことを日常生活の場面でいかせているかをはかる

# ベネッセ模試解説会 開催される



い方です。

S1からD3まで15段階のゾーンで、写真のように、どのゾーンにいれば、将来どの大学の入試を突破できるかを教えてくれています。日東駒専（日本大学、東洋大学、駒沢大学、専修大学）に合格できるゾ

ンがB3、B2、B1です。昨年度の学力推移調査1年生第2回目で国語47点、数学37点、英語37点あれば、このB3に入ることができます。

よって、今自分の得点が国数英それぞれ、40、28、26でありC2ゾーンにいるとすれば、国語あと7点、数学で9点、英語で11点取れれば、日東駒専のB3になれるのです。もし、B3を目標にするのなら、国7点、数9点、英11点をどこで取つておけばよかったのかを、考えて解き直しや復習をすればいいのです。

ポイントは「わかつていたはずなのにできなかつた問題」です。ますそこから取り組みましょう。すべての問題に挑戦しなくてもいいのです。

また、学習実態調査の結果を使って、自分の生活を見直し、自分が朝型なのか夜型なのか、時間をたっぷりつかつて学習する方がいいのか、隙間時間を見つけて学習する方がいいのか、など自分の勉強型を理解していきましょう。



## 3年生の感想

- ・今年受験生なのに、思った点数・結果が出なくて正直とても不安でした。しかし今回話を聞いて、今の自分に合った目標を立てそれを少しずつクリアしていく事が大切だという事を知りました。それからテストが返ってくると、

点数ばかり見て、今回も駄目だったかななどとても反省していました。しかし、取った点数よりもそこから今後にどれだけ繋げていけるかが大切という事も知りました。これからは自分の目標をしっかりと立ててテストに臨み、復習もしっかりとしたいと思いました。



↑この資料は生徒には配信済み